

～防災知っ手帖～

発行：郷地東町連合自治会 会長 志村和亮
防災部 鈴木祥平 酒井直

首都圏で想定されている大地震について

東京都は東日本大震災を踏まえ策定した「首都直下地震等による東京の被害想定（平成24年公表）」及び「南海トラフ巨大地震等による東京の被害想定（平成25年公表）」を10年ぶりに見直し、2022年5月25日に公表しました。その一部を紹介します。

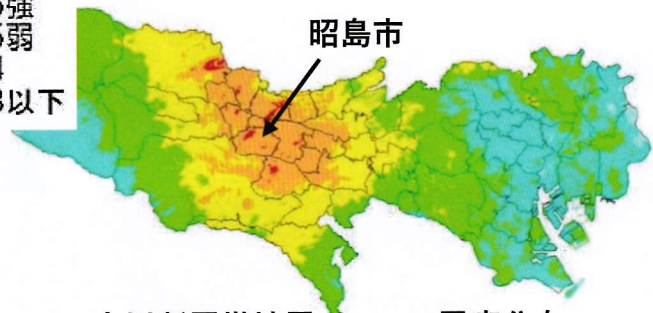
- 【首都直下地震】
 - ◆都心南部直下型地震(M7.3)
 - ◆多摩東部直下型地震(M7.3)
 - ◆都心東部直下型地震(M7.3)
 - ◆都心西部直下型地震(M7.3)
 - ◆多摩西部直下型地震(M7.3)
- 【活断層で発生する地震】 ◆立川断層帯地震(M7.4)
- 【海溝型地震】
 - ◆大正関東地震(M8クラス)
 - ◆南海トラフ巨大地震(M9クラス)

昭島地域に影響の大きい地震（上記の赤字の地震）

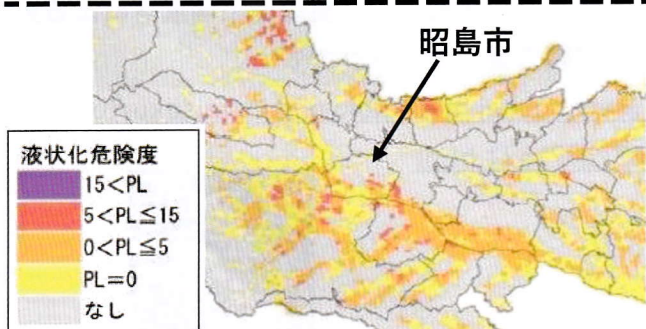


多摩東部直下型地震(M7.3)の震度分布

震度
7
6強
6弱
5強
5弱
4
3以下

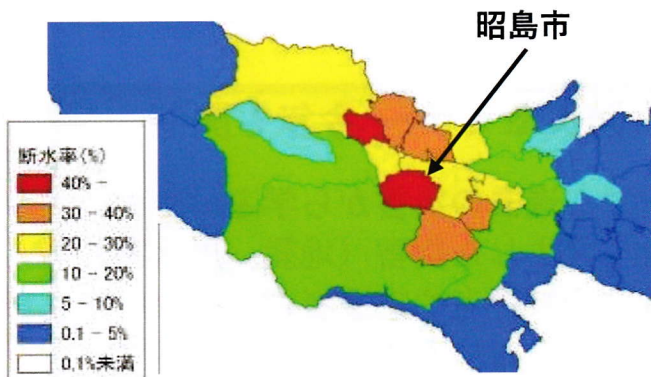


立川断層帯地震(M7.4)の震度分布

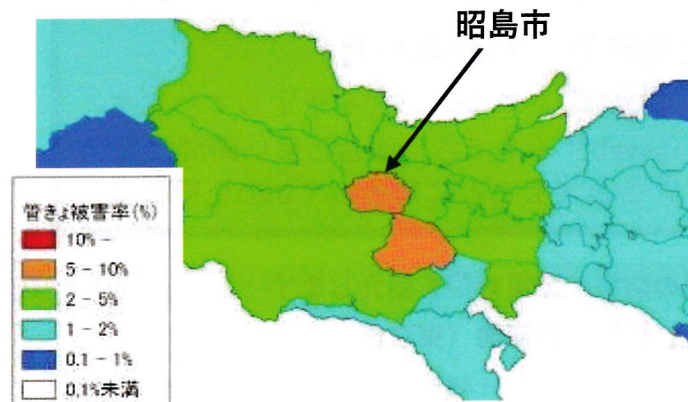


立川断層帯地震(M7.4)の液状化危険度分布

上下水道の被害推定（立川断層帯地震）



断水率（立川断層帯地震）



下水道管きょ被害率（立川断層帯地震）

下水道「管きょ」とは下水管や側溝などの水路設備

電力供給の被害推定（立川断層帯地震）

電力供給への被害推定は、

- (a)配電設備への被害と
- (b)拠点的な施設・機能（発電所、変電所等）の被害の両面を考える必要がありますが、今回の報告書では(b)の定量評価ができていない為、割愛しました。

PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL
液状化危険度は極めて低い。	液状化危険度は低い。	液状化危険度がやや高い。	液状化危険度が高い。
液状化に関する詳細な調査は不要	特に重要な構造物に対して詳細な調査が必要	重要な構造物に対してはより詳細な調査が必要。液状化対策が一般には必要詳細な調査が必要	液状化に関する詳細な調査と液状化対策は不可避

PL値による液状化危険度判定区分